本 管 調 査 総 括 表

№ 1

№	上流人孔				管渠										下流人孔			
	路線№	№	人孔種別	人孔深	上流管頂深	管種	管径	調査延長〔m〕	管本数	取付管数	写真番号	VTR №	VTR カウンター	下流管頂深	路線№	№	人孔種別	人孔深
1	21-197	197	1号	3.87	3.22	HP-2	φ600	53.87	22	0	～		～	3.34	21-197	196	3号	4.10
2	21-198	198	2号	4.36	3.71	HP-2	φ600	44.47	18	0	～		～	3.22	21-198	197	1号	3.87
3	21-195	195	2号	3.90	3.14	HP-2	φ700	97.28	39	0	～		～	2.99	21-195	194	2号	3.75
4											～		～					
5											～		～					
6											～		～					
7											～		～					
8											～		～					
9											～		～					
10											～		～					
11											～		～					
12											～		～					
13											～		～					
14											～		～					
15											～		～					
16											～		～					
17											～		～					
18											～		～					
19											～		～					
20											～		～					
21											～		～					
22											～		～					
23											～		～					
24											～		～					
25											～		～					
26											～		～					
27											～		～					
28											～		～					
29											～		～					
30											～		～					
合計								195.62	79	0								

本 管 調 査 集 計 表

№ 1

№	上流人孔№		下流人孔№		管種	管 径 (mm)	調査延長 (m)	管本数	検査種別	軸クラック (破損)			周クラック			管厚減少 (腐食)			継手ズレ			浸入水			不陸			取付突出			油脂付着			侵入根			モルタル付着			そ の 他			計		
	路線№	№	路線№	№						A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
1	21-197	197	21-197	196	HP-2	600	53.87	22	衝撃弾性波検査				1		5																											1		5
									テレビカメラ調査	1								5																								1		5
2	21-198	198	21-198	197	HP-2	600	44.47	18	衝撃弾性波検査			1	2																													2		1
									テレビカメラ調査																																		
3	21-195	195	21-195	194	HP-2	700	97.28	39	衝撃弾性波検査					2																													2	
									テレビカメラ調査																																		
4									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
5									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
6									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
7									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
8									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
9									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
10									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
11									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
12									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
13									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
14									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
15									衝撃弾性波検査																																		
									テレビカメラ調査																																		
合 計							195.62	79	衝撃弾性波検査			1	3	2	5																											3	2	6
									テレビカメラ調査	1								5																								1		5

補 修 対 策 一 覧 表

№ 1

No.	路線 No.	上流人孔 No.	下流人孔 No.	管種	管径 〔mm〕	調査延長 〔m〕	管本数 〔本〕	取付 管数 〔本〕	調査時 経過年数 〔年〕	占有 位置	テレビカメラ調査 結果				衝撃弾性波検査 結果				経済性判定		補 修 判 定		
											改築修繕 判定	A数	B数	C数	自立強度 判定	A数	B数	C数	〔1〕 残存年数 単価比較	〔2〕 箇所数 単価比較	総合 判定	緊急度 判定	更新 ・ 改良
1	21-197	197	196	HP-2	φ 600	53.87	22	0	18		A	1		5	問題なし	1		5	修繕	修繕	改築	*	改良
2	21-198	198	197	HP-2	φ 600	44.47	18	0	18		-				C	2		1	修繕	修繕	修繕	Ⅲ	改良
3	21-195	195	194	HP-2	φ 700	97.28	39	0	18		-				問題なし		2		修繕	修繕	改築	-	改良
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							
16																							
17																							
18																							
19																							
20																							
21																							
22																							
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							
28																							
29																							
30																							
合計						195.62	79	0															

調査年月日: 2010 年 5 月 17 日　　診断票No. 1

管 路 調 査 ・ 診 断 票

業務場所 ＹＢ11-Ｙ2 下水道管渠長寿命化計画策定業務（大曲）

路線番号	管種	管径（mm）	調査延長	敷設年度	調査時経年	管本数	取付管数
21-198	HP-1	φ 600	44.47 m	1992 年	18 年	18	0

	人孔番号	人孔種別	蓋種別	人孔深	管頂深	写真番号	VTR番号	ｶｳﾝﾀｰ番号	占有位置
上流人孔	198	2号	鉄	4.36 m	3.71 m				1.車道 2.歩道 3.その他
下流人孔	197	1号	鉄	3.87 m	3.22 m				

衝撃弾性波検査																				
管体	A							周										周		
	B																			
	C							軸												
	自立指数							75.5												

下流	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	上流

テレビカメラ調査																					
管体	A																				
	B																				
	C																				
	距離（m）																				
	写真番号																				
取付口	A																				
	B																				
	C																				
	距離（m）																				
	写真番号																				
継手	A																				
	B																				
	C																				
	距離（m）	0.50	2.39	4.84	7.34	9.78	12.25	14.71	17.15	19.66	22.14	24.62	27.10	29.55	32.04	34.48	36.95	39.43	41.86	43.72	
	写真番号																				

衝撃弾性波（ロボット）検査

	診断項目	A数	管数比	B数	管数比	C数	管数比	判定
1	軸クラック					1	6%	C
2	周クラック	2	11%					B
3	有効管厚み							

ＴＶカメラ調査

	診断項目	A数	管数比	B数	管数比	C数	管数比	判定	
1	破損・軸クラック							修繕改築	
2	周クラック								
3	継手ズレ								
4	浸入水								
5	腐食								
6	不陸								
7	取付突出							維持管理	
8	油脂付着								
9	浸入根								
10	モルタル付着								
浸入水判定				スパン判定					

判　定

判定項目	判定方法	判定
自立強度判定（衝撃弾性波）	A：改築自立管 B：改築（自立・複合・二層）管 C：改築二層構造管 or 修繕	C
経済性判定	(1) 残存年単価比較（A：改築、B：修繕）	修繕
	(2) 箇所数単価比較（A：改築、B：修繕）	修繕
総合判定	改築・修繕判定（改築優先）	修繕
更新・改良	調査翌年時50年未満は改良	改良
緊急度	スパン判定Ⅰ・Ⅱ・＊（他）	*

改善数量（改築・修繕・維持管理・前処理）

維持管理	根切り		はつり		切削	
	清掃		止水		軸補正	
前処理	浚渫		堆積深		浚渫量	
工事	掘削		夜間		水替	

〔管体〕 ：A ：B ：C
〔継手〕 縦二重線：A 縦太線：B
〔取付口〕 ：A ：B ：C

〔備考〕
・管体には異常箇所は見られなかった。
・管路1本目は延長が半端なため2回計測
・1本計測忘れあり（全体の管本数は18本）

工法選定（順不同）

種別	工法名		
改築製管工法			
改築形成・反転工法			
改築開削工法			
改築推進工法			
修繕止水工法			

調査年月日: 2010 年 5 月 17 日　　診断票No. 2

管 路 調 査 ・ 診 断 票

業務場所 ＹＢ11-Ｙ2 下水道管渠長寿命化計画策定業務（大曲）

路線番号	管種	管径（mm）	調査延長	敷設年度	調査時経年	管本数	取付管数
21-197	HP-1	φ 600	53.87 m	1992 年	18 年	22	0

	人孔番号	人孔種別	蓋種別	人孔深	管頂深	写真番号	VTR番号	ｶｳﾝﾀｰ番号	占有位置
上流人孔	197	1号	鉄	3.87 m	3.22 m				1.車道 2.歩道 3.その他
下流人孔	196	3号	鉄	4.10 m	3.34 m				

衝撃弾性波検査		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
管体	A	周																					
	B																						
	C		周				周		周			周										周	
	自立指数																						

上流　1　2　3　4　5　6　7　8　9　10　11　12　13　14　15　16　17　18　19　20　21　22　下流

テレビカメラ調査		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
管体	A																					軸	
	B																						
	C		腐				腐		腐			腐						腐					
	距離（m）		2.10～4.26				11.19～14.31		16.93～19.21			24.43～26.64						39.08～41.53				48.96	
	写真番号																						
取付口	A																						
	B																						
	C																						
	距離（m）																						
	写真番号																						

継手																							
A																							
B																							
C																							
距離（m）	0.41	1.97	4.45	6.91	9.40	11.87	14.34	16.81	19.30	21.77	24.23	26.71	29.21	31.66	34.14	36.62	39.07	41.56	44.01	46.47	48.95	51.42	53.76
写真番号																							

衝撃弾性波（ロボット）検査

診断項目		A数	管数比	B数	管数比	C数	管数比	判定
1	軸クラック							
2	層クラック	1	5%			5	23%	B
3	有効管厚み							

ＴＶカメラ調査

診断項目		A数	管数比	B数	管数比	C数	管数比	判定	
1	破損・軸クラック	1	5%					修繕改築	A
2	層クラック								
3	継手ズレ								
4	浸入水								
5	層食					5	23%		C
6	不陸								
7	取付突出							維持管理	
8	油脂付着								
9	浸入根								
10	モルタル付着								
浸入水判定				スパン判定					

判　定

判定項目	判定方法	判定
自立強度判定（衝撃弾性波）	A：改築自立管 B：改築（自立・複合・二層）管 C：改築二層構造管 or 修繕	問題なし
経済性判定	(1) 残存年単価比較（A：改築、B：修繕）	修繕
	(2) 箇所数単価比較（A：改築、B：修繕）	修繕
総合判定	改築・修繕判定（改築優先）	改築
更新・改良	調査翌年時50年未満は改良	改良
緊急度	スパン判定Ⅰ・Ⅱ・＊（他）	Ⅲ

改善数量（改築・修繕・維持管理・前処理）

維持管理	根切り		はつり		切削	
	清掃		止水		軸補正	
前処理	浚渫		堆積深		浚渫量	
工事	掘削		夜間		水替	

〔管体〕 ：A ：B ：C
〔継手〕 縦二重線：A 縦太線：B
〔取付口〕 ：A ：B ：C

〔備考〕
1本目は管路が半端なため2回計測
22本目は管口落差のため2回計測

工法選定（順不同）

種別	工法名		
改築製管工法			
改築形成・反転工法			
改築開削工法			
改築推進工法			
修繕止水工法			

調査年月日: 2010 年 5 月 18 日　　診断票No. 3

管 路 調 査 ・ 診 断 票

業務場所 ＹＢ11-Ｙ2 下水道管渠長寿命化計画策定業務（大曲）

路線番号	管種	管径（mm）	調査延長	敷設年度	調査時経年	管本数	取付管数
21-195	HP-1	φ 700	97.28 m	1992 年	18 年	39	0

	人孔番号	人孔種別	蓋種別	人孔深	管頂深	写真番号	VTR番号	ｶｳﾝﾀｰ番号	占有位置
上流人孔	195	2号	鉄	3.90 m	3.14 m				1.車道 2.歩道 3.その他
下流人孔	194	2号	鉄	3.75 m	2.99 m				

衝撃弾性波検査																															
管体	A																														
	B	周																													
	C																														
	自立指数																														

上流	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

テレビカメラ調査																															
管体	A																														
	B																														
	C																														
	距離（m）																														
	写真番号																														
取付口	A																														
	B																														
	C																														
	距離（m）																														
	写真番号																														
継手	A																														
	B																														
	C																														
	距離（m）	0.82	2.81	5.27	7.73	10.21	12.67	15.13	17.63	20.09	22.58	25.02	27.51	29.96	32.45	34.90	37.36	39.84	42.31	44.75	47.25	49.71	52.17	54.63	57.10	59.54	62.01	64.47	66.99	69.42	71.86	74.31
	写真番号																														

衝撃弾性波（ロボット）検査

	診断項目	A数	管数比	B数	管数比	C数	管数比	判定
1	軸クラック							
2	周クラック			2	5%			B
3	有効管厚み							

ＴＶカメラ調査

	診断項目	A数	管数比	B数	管数比	C数	管数比	判定	
1	破損・軸クラック							修繕改築	
2	周クラック								
3	継手ズレ								
4	浸入水								
5	腐食								
6	不陸								
7	取付突出							維持管理	
8	油脂付着								
9	浸入根								
10	モルタル付着								
浸入水判定				スパン判定					

判　定

判定項目	判定方法	判定
自立強度判定（衝撃弾性波）	A：改築自立管 B：改築（自立・複合・二層）管 C：改築二層構造管 or 修繕	問題なし
経済性判定	(1) 残存年単価比較（A：改築、B：修繕）	修繕
	(2) 箇所数単価比較（A：改築、B：修繕）	修繕
総合判定	改築・修繕判定（改築優先）	改築
更新・改良	調査翌年時50年未満は改良	改良
緊急度	スパン判定Ⅰ・Ⅱ・＊（他）	-

改善数量（改築・修繕・維持管理・前処理）

維持管理前処理	根切り		はつり		切削	
	清掃		止水		軸補正	
	浚渫		堆積深		浚渫量	
工事	掘削		夜間		水替	

〔管体〕 ：A ：B ：C
〔継手〕 縦二重線：A 縦太線：B
〔取付口〕 ：A ：B ：C

〔備考〕
・管体には異常箇所は見られなかった。
・管路1本目は延長が半端なため2回計測

工法選定（順不同）

種別	工法名		
改築製管工法			
改築形成・反転工法			
改築開削工法			
改築推進工法			
修繕止水工法			

衝撃弾性波検査	管体	A									
		B									周
		C									
		自立指数									

31	32	33	34	35	36	37	38	39	下流

テレビカメラ調査	管体	A									
		B									
		C									
		距離 (m)									
		写真番号									
	取付口	A									
		B									
		C									
		距離 (m)									
		写真番号									
	継手	A									
		B									
		C									
		距離 (m)	76.78	79.23	81.70	84.18	86.67	89.11	91.56	94.01	96.36
		写真番号									

調査年月日: 2010 年 5 月 17 日 No. 1

解 析 データ 表

(株) リハビリ・リサーチ・ラボラトリー

業務場所 YB11-Y2 下水道管渠長寿命化計画策定業務(大曲) 管路調査・診断票No. 1

路線番号	調査方向	管種	管径(mm)	調査延長	敷設年度	調査時経年	管本数	取付管数
21-198	下流 → 上流	HP-2	φ 600	44.47 m	1992 年	18 年	18	0

	人孔番号	人孔種別	蓋種別	人孔深	管頂深
上流人孔	198	2号	鉄	4.36 m	3.71 m
下流人孔	197	1号	鉄	3.87 m	3.22 m

対象管体	検査位置	高周波成分比 [%]	全周波成分量	最大ピーク強度	TVカメラ状況 A	TVカメラ状況 B	TVカメラ状況 C	衝撃弾性波検査判定結果 A	衝撃弾性波検査判定結果 B	衝撃弾性波検査判定結果 C	自立指数	備考
1	1	82.4%	3.3	2.0								
	2	73.2%	9.0	4.1								
	3	-	-	-								
2	1	75.8%	8.3	3.7								
	2	67.4%	6.3	3.2								
	3	68.7%	7.2	3.4								
3	1	54.7%	6.7	3.3								
	2	53.0%	5.7	2.8								
	3	67.2%	6.7	3.0								
4	1	80.2%	8.7	5.3								
	2	66.2%	6.1	3.1								
	3	71.6%	10.2	5.3								
5	1	60.6%	6.5	4.0								
	2	68.0%	6.9	3.3								
	3	67.7%	7.6	3.7								
6	1	62.4%	4.9	2.0								
	2	57.4%	3.8	1.6								
	3	40.8%	5.2	3.7								
7	1	23.8%	0.1	0.4								
	2	61.2%	5.4	2.7				周		軸	75.5	
	3	74.0%	4.0	1.8								
8	1	66.0%	5.3	2.3								
	2	65.2%	5.3	2.1								
	3	73.7%	7.0	3.3								
9	1	71.5%	6.8	4.0								
	2	64.1%	7.3	3.5								
	3	64.0%	5.4	2.7								
10	1	71.9%	5.9	2.9								
	2	63.0%	4.3	2.3								
	3	62.4%	6.5	2.8								
11	1	65.7%	6.1	2.6								
	2	63.2%	4.9	2.3								
	3	69.6%	6.2	3.1								
12	1	57.2%	5.3	2.2								
	2	63.2%	4.9	1.8								
	3	63.5%	3.9	1.7								
13	1	66.0%	4.7	1.6								
	2	66.4%	4.8	1.7								
	3	77.9%	6.7	3.3								
14	1	68.3%	5.8	2.4								
	2	63.8%	4.4	1.8								
	3	73.4%	6.8	3.3								
15	1	66.8%	4.5	2.0								
	2	67.9%	4.1	1.7								
	3	70.5%	4.6	2.2								
16	1	57.6%	4.3	1.5								
	2	67.5%	4.6	1.8								
	3	62.8%	6.0	2.3								
17	1	70.2%	7.6	3.4								
	2	68.8%	4.8	2.3				周				
	3	69.7%	1.0	0.6								
18	1	-	-	-								
	2	-	-	-								
	3	-	-	-								

調査年月日：　2010　年　5　月　17　日　　No.　2

解　析　データ　表

(株) リハビリ・リサーチ・ラボラトリー

業務場所　ＹＢ11-Ｙ2　下水道管渠長寿命化計画策定業務（大曲）　　管路調査・診断票No.　2

路線番号	調査方向	管種	管径 (mm)	調査延長	敷設年度	調査時経年	管本数	取付管数
21-197	上流 → 下流	HP-2	φ 600	53.87 m	1992 年	18 年	22	0

	人孔番号	人孔種別	蓋種別	人孔深	管頂深
上流人孔	197	1号	鉄	3.87 m	3.22 m
下流人孔	196	3号	鉄	4.10 m	3.34 m

対象管体	検査位置	高周波成分比 [%]	全周波成分量	最大ピーク強度	TVカメラ状況 A	TVカメラ状況 B	TVカメラ状況 C	衝撃弾性波検査判定結果 A	衝撃弾性波検査判定結果 B	衝撃弾性波検査判定結果 C	自立指数	備考
1	1	64.9%	1.0	0.5								
	2	61.9%	4.7	2.6				周				
	3	-	-	-								
2	1	59.0%	3.1	1.4								
	2	48.6%	2.8	1.2			腐			周		
	3	42.3%	2.6	1.2								
3	1	55.8%	4.1	1.9								
	2	53.4%	4.0	1.6								
	3	62.1%	5.4	2.1								
4	1	75.9%	7.1	3.3								
	2	56.5%	4.7	2.0								
	3	65.9%	6.1	3.1								
5	1	75.0%	7.4	3.0								
	2	65.8%	5.2	2.5								
	3	70.5%	5.9	2.8								
6	1	63.5%	4.0	1.7								
	2	53.2%	2.8	1.1			腐			周		
	3	65.7%	3.6	2.0								
7	1	70.9%	5.4	2.3								
	2	65.1%	4.2	2.0								
	3	64.4%	5.4	2.2								
8	1	59.9%	4.1	1.4								
	2	57.1%	2.7	1.3			腐			周		
	3	58.0%	3.1	1.3								
9	1	65.4%	4.1	1.8								
	2	60.5%	4.2	1.8								
	3	68.6%	5.4	2.1								
10	1	70.9%	5.6	2.6								
	2	62.4%	4.7	2.0								
	3	68.0%	5.2	2.4								
11	1	71.8%	6.4	2.8								
	2	46.4%	2.3	1.0			腐			周		
	3	46.8%	2.8	1.3								
12	1	68.4%	4.0	2.0								
	2	60.3%	4.2	1.5								
	3	64.4%	4.9	2.3								
13	1	70.8%	6.0	2.5								
	2	61.0%	4.7	1.9								
	3	57.7%	3.8	1.3								
14	1	59.2%	3.4	1.4								
	2	57.3%	3.2	1.4								
	3	56.0%	4.4	1.9								
15	1	62.7%	4.3	1.6								
	2	60.1%	4.1	1.4								
	3	63.6%	5.8	2.1								
16	1	72.9%	6.1	2.5								
	2	62.5%	4.1	2.2								
	3	60.9%	4.7	2.1								
17	1	54.6%	5.2	2.2								
	2	49.4%	3.3	1.6			腐					
	3	49.6%	3.4	1.3								
18	1	68.2%	4.6	2.2								
	2	65.5%	5.3	1.8								
	3	61.7%	5.7	2.0								
19	1	69.9%	5.6	2.5								
	2	59.2%	4.2	1.7								
	3	63.8%	5.2	1.8								
20	1	70.1%	5.8	2.2								
	2	65.2%	5.6	2.7								
	3	54.4%	4.4	1.9								
21	1	53.8%	2.4	0.8								
	2	55.6%	3.4	1.4	軸					周		
	3	52.2%	3.9	1.6								
22	1	68.7%	4.7	2.1								
	2	54.3%	4.6	2.1								
	3	-	-	-								

調査年月日:　2010　年　5　月　18　日　　No.　3

解　析　データ　表

(株) リハビリ・リサーチ・ラボラトリー

業務場所　ＹＢ11-Ｙ2　下水道管渠長寿命化計画策定業務（大曲）　　管路調査・診断票No.　3

路線番号	調査方向	管種	管径 (mm)	調査延長	敷設年度	調査時経年	管本数	取付管数
21-195	上流 → 下流	HP-2	φ 700	97.28 m	1992 年	18 年	39	0

	人孔番号	人孔種別	蓋種別	人孔深	管頂深
上流人孔	195	2号	鉄	3.90 m	3.14 m
下流人孔	194	2号	鉄	3.75 m	2.99 m

対象管体	検査位置	高周波成分比 [%]	全周波成分量	最大ピーク強度	TVカメラ状況 A	TVカメラ状況 B	TVカメラ状況 C	衝撃弾性波検査判定結果 A	衝撃弾性波検査判定結果 B	衝撃弾性波検査判定結果 C	自立指数	備考
1	1	57.1%	1.4	0.6					周			
	2	61.1%	6.0	4.4								
	3	-	-	-								
2	1	50.6%	5.2	4.6								
	2	64.5%	5.3	2.9								
	3	62.1%	7.1	3.3								
3	1	66.1%	7.4	3.8								
	2	68.8%	5.8	2.1								
	3	58.5%	6.5	3.1								
4	1	68.6%	5.6	2.1								
	2	63.9%	5.8	2.3								
	3	63.6%	6.4	3.0								
5	1	76.0%	7.4	3.3								
	2	65.8%	6.4	3.3								
	3	66.1%	8.0	3.2								
6	1	77.7%	9.9	4.9								
	2	71.1%	7.7	4.2								
	3	54.5%	5.2	2.2								
7	1	75.9%	6.4	2.5								
	2	69.9%	6.3	2.5								
	3	41.8%	5.2	3.3								
8	1	74.6%	9.6	5.0								
	2	68.9%	6.8	2.9								
	3	59.6%	7.0	2.6								
9	1	77.5%	9.5	5.5								
	2	68.0%	6.6	2.8								
	3	56.6%	6.9	2.6								
10	1	72.0%	8.6	4.3								
	2	67.1%	6.0	2.3								
	3	62.0%	5.4	2.0								
11	1	73.2%	6.9	3.5								
	2	70.7%	6.1	2.5								
	3	54.7%	5.2	1.8								
12	1	78.7%	8.6	4.9								
	2	68.6%	5.9	2.5								
	3	66.2%	5.8	2.2								
13	1	71.9%	6.3	3.0								
	2	69.0%	6.5	3.3								
	3	58.3%	6.0	2.6								
14	1	73.5%	5.5	2.5								
	2	66.1%	5.5	2.0								
	3	57.5%	4.7	1.9								
15	1	76.7%	7.8	3.6								
	2	65.2%	6.1	2.7								
	3	69.6%	6.9	2.7								
16	1	75.1%	7.0	3.7								
	2	66.5%	5.8	2.2								
	3	67.3%	6.0	2.8								
17	1	72.7%	7.5	3.8								
	2	71.4%	8.1	3.5								
	3	77.1%	8.5	3.9								
18	1	68.5%	5.6	3.0								
	2	66.0%	6.2	2.6								
	3	64.8%	6.6	2.9								
19	1	67.8%	4.5	1.6								
	2	69.6%	5.7	2.2								
	3	66.2%	6.5	2.7								
20	1	77.3%	6.7	3.1								
	2	67.6%	5.8	1.8								
	3	71.5%	7.4	3.1								
21	1	80.3%	7.3	3.6								
	2	63.9%	6.1	3.0								
	3	72.8%	9.2	3.9								
22	1	73.9%	6.1	3.3								
	2	66.7%	7.1	3.9								
	3	65.6%	8.7	3.5								
23	1	66.2%	5.7	2.7								
	2	67.0%	6.5	2.5								
	3	60.1%	10.1	4.2								
24	1	69.5%	6.3	3.0								
	2	67.6%	6.1	2.1								
	3	66.6%	8.4	3.6								
25	1	68.9%	4.9	2.3								
	2	70.5%	6.3	2.8								
	3	75.4%	7.6	3.4								
26	1	69.6%	6.3	3.1								
	2	66.0%	5.1	1.8								
	3	66.8%	6.5	3.2								
27	1	68.6%	5.0	2.5								
	2	69.8%	6.3	2.9								
	3	70.7%	7.3	4.3								
28	1	68.0%	5.2	2.6								
	2	69.8%	6.8	2.8								
	3	72.1%	7.3	4.0								
29	1	54.4%	4.7	2.2								
	2	70.3%	5.9	3.1								
	3	65.4%	4.9	2.3								
30	1	70.5%	4.7	2.1								
	2	71.0%	4.8	1.7								
	3	75.6%	6.2	2.9								